

ひだまり通信

【発行】 特定非営利活動法人 在宅支援センターサポートランド21
在宅支援センターひだまり 【Email】 hidamari33@sand.ocn.ne.jp

2019 11月号
Vol. 136

〒814-0162
福岡市早良区星の原団地32-104
TEL 092-874-5003
FAX 092-874-5009

ヘルパーの皆様、連日の支援お疲れ様です。季節はすっかり冬になりました。外出には上着が必須になり、日が暮れる時間も早くなり夕方の支援後は真っ暗ということも増えたのではないのでしょうか。空気が乾燥し体調管理も難しい時期です。うがい・手洗いはしっかりと行いましょう。今月上旬には法人健康診断も一段落しました、結果はいかがでしたでしょうか？

季節が冬に近づくと猛威を振るい始めるのがインフルエンザです。罹患すると風邪に似た症状が発症しますが、インフルエンザは38度以上の高熱になります。発症して3日間程が一番感染力が高いと言われています。自分自身の他、利用者様に少しでも異変を感じた場合は事務所までご連絡下さい。今年は流行が早く、時期的にも長期間流行の兆しが続く予想も見られます。

インフルエンザは、感染した患者の咳やくしゃみなどで飛び散ったつば（飛沫）と一緒に放出されたウイルスを吸い込んだりして感染（飛沫感染）することが主な感染経路と考えられています。吐き出されたウイルスが飛沫核という微粒子の状態になると、ホコリとともにともに空気中に浮遊し、それを吸い込むことによって感染（空気感染）する可能性や、ウイルスが付着した物にさわると、その手で口や鼻、目の周りなどに触れると感染（接触感染）するの可能性もあります。厚生労働省が推奨する感染の対策としては以下となります。

- 流行期間中に繁華街などの人ごみへの外出を控えましょう。
- 咳エチケットを心がけましょう。
- 外出後の手洗いを日常的に行ないましょう。
- 十分に栄養や睡眠をとり、体力や抵抗力を高め、体調管理をしましょう。
- 加湿器などで空気の乾燥を防ぐことや部屋の換気も大切です。



当法人のブログ活動の様子はホームページでもご紹介しています。Supportland21.jp もしくは「わくわくランド福岡」で検索してください。「在宅支援センターひだまり」のページからは「ひだまり通信」が…わくわくランドのページからは「わくわくランドニュース」とときめきウェブサイトからは「スタッフブログ」に飛ぶことができます。また、今津特別支援学校の放課後等支援事業「ほのぼのルーム」のページもできていますので、ぜひご覧ください。日々の活動とエピソードを紹介していきますので、「お気に入り」に追加していただき、毎日ワンクリックのご支援をお願いいたします。



9月号から、自閉症スペクトラムについて載せています。今回は3回目、特性・支援についてです

特 性	関係する環境要因の例	指導・支援の概要	
コミュニケーション・社会性	受容コミュニケーションの特性 言語指示の理解の困難さ、字義とおり理解する、言語指示を整理してつかむことができないなど	<ul style="list-style-type: none"> 指示が無い 指示が本人にあっていない 情報量が多い 指示が複雑でわかり難い 	<ul style="list-style-type: none"> 本人の理解にあわせた視覚的指示の活用 言語指示も本人にあわせる 情報を整理して伝える 指示を明瞭化する など
	表出コミュニケーションの特性 無言語、エコリア※、声の調子やリズム、意思交換の困難さなど	<ul style="list-style-type: none"> 表出できていた時点から、状況(文脈)が変化した(人、場面) 本人に必要な代替コミュニケーションのツールが無い 本人にあった教えるステップがない 	<ul style="list-style-type: none"> 本人にあった代替コミュニケーションのツールを活用する リマインダー※、視覚的指示の利用 本人にあわせた手がかりとステップで教える など
	社会性・対人関係の特性 一人で行くことを好む、アイコンタクトやジョイントアテンション、セオリ・オブ・マインド※の困難さ、自発的にかかわりをもつことの困難さなど	<ul style="list-style-type: none"> 曖昧な社会的な状況がある 社会的に複雑な場面である 本人にとって社会的な規模が大きすぎる 本人の社会性の段階※以上の設定である 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的な状況を視覚的に伝える 自立した活動で社会的な活動を伝える 本人にあった社会的な規模と段階※の設定 など
全体よりも細部に注目する特性	転導性・衝動性 注意・注目の特性 転導的・衝動的な行動、切り替えの困難さ注目することの困難さなど	<ul style="list-style-type: none"> 注目を引っ張っている物や活動がある 様々な刺激・情報がある 本人の注目を助ける刺激の統制が無い 注目すべき活動が明確に提示されていない 本人の切り替え、見過しのための手だてがない 	<ul style="list-style-type: none"> 影響を受けている刺激・情報の統制する 終わりや次の活動を提示する 活動を明確に指示する 活動の指示や材料を明瞭化する など
	時間整理統合の特性 日程の計画や調整、活動や手順の調整、実行機能の困難さなど	<ul style="list-style-type: none"> 本人に活動の終わりが提示されていない 本人に見通しが提示されていない(日課、活動、手順の提示がない) 変更が提示されていない 今の活動に関係のない物が見える 	<ul style="list-style-type: none"> 終わりや次の活動を提示する 日課やいくつかの活動、手順などを視覚的に提示する 変更を視覚的に提示する など
	空間整理統合の特性 自分の位置や材料や道具の位置の調整、1つ場所の多目的利用の困難さなど	<ul style="list-style-type: none"> 本人がどこで活動すればいいか提示されていない 材料や道具の位置が整理されていない 活動には関係のない刺激や情報がある 	<ul style="list-style-type: none"> エリアを設定する 境界を明確にする 刺激・情報を統制する 材料や道具の置き場所を指示する など
	変化の対応の特性 場所、物、人、予定、習慣の変化の不安・拒否、強迫的な行動、ルーティンの必要性など	<ul style="list-style-type: none"> 日課の変更がある いつものとは違った流れがある 物の位置や状況の変化がある 変化、変更を伝える手だてがない 	<ul style="list-style-type: none"> 日課や活動の変更を視覚的に伝える 物や位置や状況の位置の変更を伝える、又はすぐ元に戻せるように工夫する など
	関係理解の困難さ 関連づけしすぎ、関連づけが難しい、自己流の解釈、字義と通りの解釈、絵などを具体的にとりすぎる	<ul style="list-style-type: none"> 曖昧な言語などの指示がある 比喩や慣用語などの指示がある 経験、機会が少ない 本人にあわせて整理して伝えられていない 	<ul style="list-style-type: none"> 本人にあわせた具体的に理解できる内容の指示で伝える 意味を理解するためのステップが必要である 本人にあわせて表や図で整理して伝える など
	一般化の特性 習得したスキルや人や物への対応を他の場面、違う文脈で状態が変わる。材料・場面・指導者が変わったときに課題を遂行できないなど	<ul style="list-style-type: none"> 1つの活動を様々な場面で実施している いつものと違った状況である 一般化に対応できない教え方である 	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に一般化の機会をつくる 1対1→自立→一般化のステップですすめる 活動を視覚的に伝える など
	記憶の特性	記憶の維持の特性 短期記憶・作業記憶※などの維持の困難さなど	<ul style="list-style-type: none"> 距離が離れている 動線が複雑である 様々な刺激・情報がある 記憶を補う手だてがない
長期記憶の特性 長期に亘り維持される記憶、経験した記憶が消せない特性など		<ul style="list-style-type: none"> 過去の記憶を思い出す切っ掛けの刺激・情報・状況がある 曖昧な時間が多い 生活全般が充実していない 過去の記憶を本人にあわせて整理されていない 	<ul style="list-style-type: none"> 記憶の記憶の切っ掛けになっている刺激・情報・状況を無くす 具体的な活動を生活全般で提示する 過去の記憶を本人にあわせて整理する など
感覚の特異性 視覚刺激、聴覚刺激、味覚刺激、嗅覚刺激、触覚刺激などによる反応、または鋭敏さ、鈍感さ	<ul style="list-style-type: none"> 様々な刺激がある 刺激を統制する支援がない 自己調整できる手だてがない 感覚刺激がある 	<ul style="list-style-type: none"> 刺激の統制をする 自己調整できるような工夫をする 感覚的な活動を具体化する など	
微細運動・粗大運動 手と目の供給の困難さ、手先の不器用さ、緊張のある動き、柔軟さのない体全体の動きなど	<ul style="list-style-type: none"> 本人が経験していない道具や材料がある 道具が本人にあっていない 本人にあわせた補助具・手だてがない 明確な指示、フィードバック※がない スモールステップでのトレーニングがない 	<ul style="list-style-type: none"> 本人にあわせた道具を活用する 本人にあわせた補助具、手だてを活用する 明確な指示、フィードバックをする スモールステップで教える など	
感情のコントロール	<ul style="list-style-type: none"> 感情を高める要因がある 感情をコントロールする方法がない 	<ul style="list-style-type: none"> 感情を高める要因を除去したり軽減する 感情を高ぶった状態を周囲や本人が確認できるようにする 感情をコントロールする方法を活用する など	

先月のヘルパーミーティングを振り返ろう！

R1年 10月 31日に行ったヘルパーミーティングを振り返ります。

親なき後を考える（担当：富永）

以前、司法書士の重信氏が講師を務められた「親なき後問題の為の制度～家族信託・遺言・成年後見～」をテーマに勉強会に参加しました。内容的にも複雑で、難しい内容でしたが、一部をご紹介します。

【親なき後】とは...

親が亡くなった後に、障がいのあるこどもが生きていくためにどうするか？⇒親が認知症や介護が必要になった場合も同じような問題が起こる。

【親なき】として考えること

・財産（お金）の管理 ・生活の場 ・日々の生活の支援 ・身上監護（生活・医療・介護などに関する契約や手続き）。

【信託の種類】

家族信託・・・財産の管理・処分を、信頼できる人（家族）に託す契約のことです。

*高齢者や障がい者のために、兄弟や家族、親せきなどに財産を託す方法を「福祉型信託」と呼んでいます。

生命保険信託・・・財産管理が困難であるなどの事情がある場合に、必要な財産交付を行うことを目的として利用される信託です。

【遺言】・・・遺言を残すことで、子どもの資産を守る。遺言を残すことによって、個々の財産の継承先を指定する事ができます。

【遺言の種類】・・・直筆証書遺言、公正証書遺言⇒公正証書遺言の方が正式な書類として残るため、一般的によく利用されています。

【成年後見制度】とは

認知症や精神障害等により判断能力が不十分になってしまった人を法的に支援する制度で、平成12年4月1日に始まりました。成年後見は、本人に代わって、その方の財産管理や法律行為を行う事ができます。

以前、上記の勉強会に参加しましたが、内容的にも非常に難しかったです。その道の専門家の方が講師を務められ、専門用語を織り交せながらの説明だった為、理解できない部分も多々ありましたが、誰しも避けては通れない事だと感じました。



次回ヘルパーミーティングは11月28日19時より。

ひだまりにて予定しております。情報を分かり易くお伝えできるよう、スタッフも工夫しています。（勉強会担当は片小田が行います。）皆様のご参加、お待ちしております。

星の原ケアプランサービス

日々の業務お疲れ様です。朝晩がかなり寒くなってきましたね。

体調崩さないように、しっかり食べてしっかり休んで体調を整えましょう！！

さて、今回のひだまり通史では、福岡市介護支援ボランティアについてご紹介したいと思います。

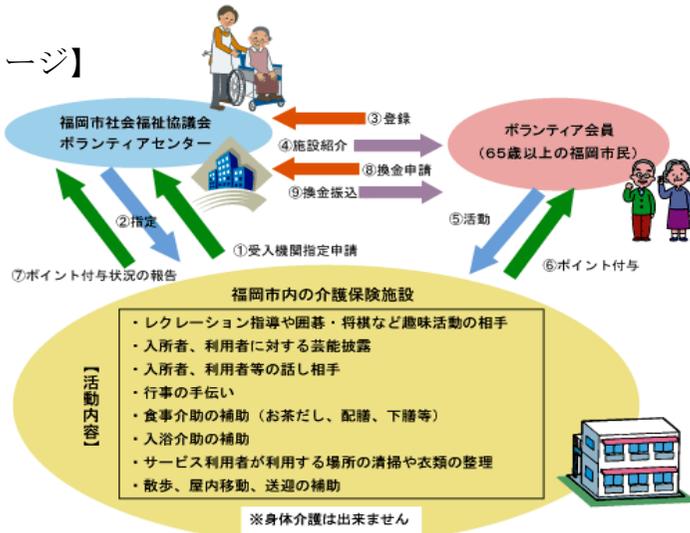
「介護支援ボランティア事業」とは？



福岡市にお住まいの65歳以上の高齢者が介護保険施設等でボランティア活動を行うと『ポイント』が付与され、貯まったポイントを換金又は寄付することができる事業です。

【目的】元気な高齢者が特別養護老人ホーム等でボランティア活動を行うことにより、社会参加、生きがい作り、健康づくりを行い、介護予防に役立てていただくとともに、地域における高齢者のボランティア活動を奨励、支援します。

【イメージ】



【ポイントに関して…】

1時間以上の活動に対し200ポイント付与（1日上限200ポイント）
「ボランティア手帳」に1つスタンプが押される。（1スタンプ=200ポイント）
換金は年間5000ポイント
= 5,000円まで（1ポイント1円）

《対象とならない活動》



- ・ サービス利用者以外のものに関わる行為など、本来職員が行うべき行為
（例）サービス利用者が利用する以外の場所（事務所）の清掃等
- ・ 報酬、謝礼金が支払われている活動（交通費、活動中の食事、原材料費など費用弁償程度のものは除く）
- ・ もっぱら自身の親族や知人に対する活動
- ・ 受け入れ施設の主宰事業でないものに対する活動（施設内設備を使用して活動するほかの団体への参加など）

【奨励金または寄付の申請方法】

申請期間はポイントが付与された年の翌年1月4日～1月31日までです。

「福岡市介護支援ボランティア事業ポイント交換申出書」に必要事項を記入・捺印の上、振込先通帳（コピー可）及びボランティア手帳と一緒に、市または、各区のボランティアセンターに提出してください。

後日指定された金融機関の口座に振り込み（または福岡市社会福祉協議会に寄付）いたします。

※介護保険料滞納している場合は、換金又は寄付できません。※換金は毎年1月から12月までの実績で計算し、年間5,000円を上限とします。※1ポイント=1円となります。（1スタンプ=200ポイント=200円）

詳しくは、福岡市社会福祉協議会のホームページより介護支援ボランティア事業を検索してご確認ください。

ホームページアドレス <http://www.fukuoka-shakyo.or.jp/>